

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-17号)

令和2年10月9日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年10月5、7日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

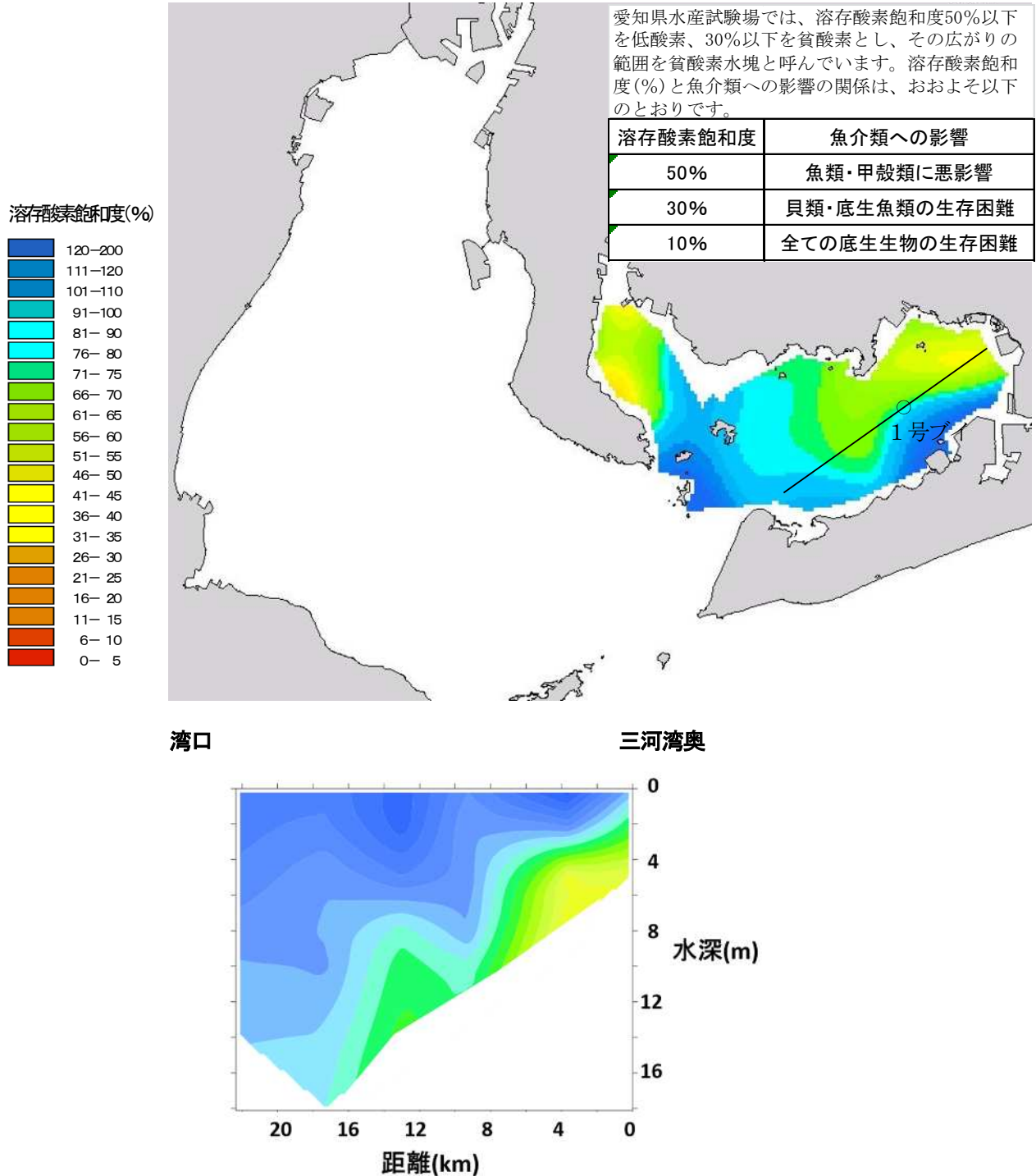


図1 三河湾(10月5、7日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

10月5、7日の調査結果を図1に示しました。前回調査では貧酸素水塊は渥美湾奥と知多湾西部に分布していましたが、今回の調査では三河湾全域で貧酸素水塊は確認されませんでした。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、9月28日に一旦貧酸素が解消した後、再び発達し、10月6日にまた解消する、という様子が観測されました。10月5日午後には竹島から御津にかけて苦潮が確認されており、北西風により下層の貧酸素水塊が湧昇したものと考えられます。

表底層間での水温・塩分格差が非常に小さくなってきており、上下層の混合が起きやすい状況となっています。今後は、貧酸素水塊の発達と解消を繰り返しながら、徐々に規模が縮小していくと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.1~24.7	26.6~31.2
底層	22.8~24.4	30.6~32.0

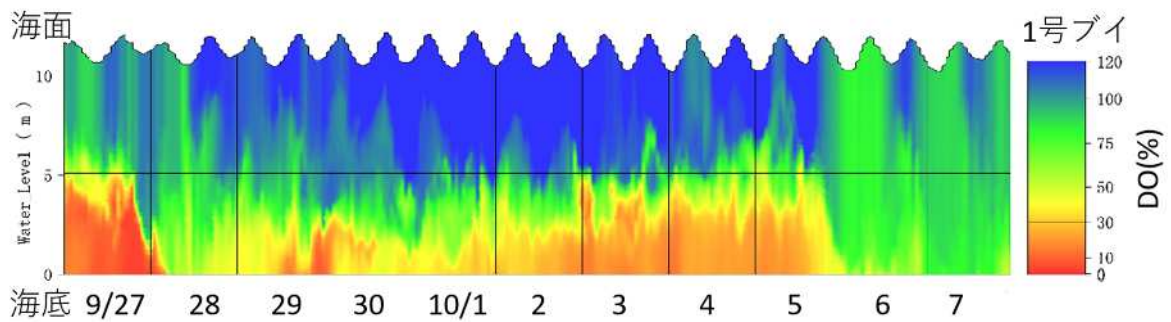


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

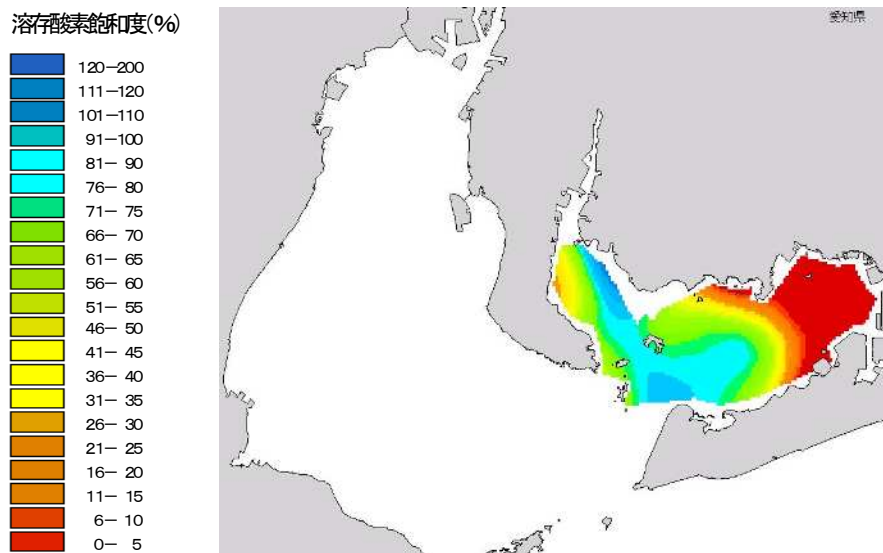


図3 令和2年9月24日 (三河湾)